

一 般 質 問

令和7年 第4回(9月)南関町議会定例会

番	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1	11番議員 立山比呂志 「一括方式」 (約60分)	来年の町長選挙について 国民健康保険税のしくみについて	任期満了を町長、議員ともに迎えるが、町長の4度目の出馬の意向を尋ねる。 1、算定方法について尋ねる。 2、軽減・減免等について尋ねる。	町長 町長
2	8番議員 井下 忠俊 「一括方式」 (約90分)	地方自治体とマーケティングについて ランドセルの現状について	1、マーケティングに対する認識と捉え方について尋ねる。 2、町の施策・事業におけるマーケティング取り入れについて尋ねる。 3、今後の町づくりに対し、マーケティングの必要性を問う。 1、現在のランドセルにおいては、性能の向上はもちろんだが、併せてその価格も向上している。町に対し、要望など上がっていないか、尋ねる。 2、検討する余地はあると思うが、町の考えを問う。	町長 町長 教育長
3	10番議員 山口 純子 「一括方式」 (約40分)	安心して暮らせる高齢者への取り組みについて	1、住んでよかったプロジェクト事業の中のタクシー助成、乗り合いタクシー、見守り弁当事業の実施状況について尋ねる。 2、町内における老々介護の現状、課題、取り組みの成果を尋ねる。 3、エンディングサポート事業について尋ねる。	町長

4	6番議員 中村 正雄 「一問一答」 (約90分)	町の公開度について 線状降水帯発生時における情報伝達のスピードアップと一元化について	<p>先般、町の外郭団体において事件が発生したが、町民に向けての一般公表は行われなかった。</p> <p>現代社会において、行政の情報公開が遅れることは、事実以上に不信感や誤解を招き、結果的に行政負担を増やすことになる。公開度向上に対する取組みを問う。</p> <p>1、現状、町の情報公開度として、平常時の情報公開と事件・事故等発生時の即時公表について、どのように自己評価しているか。</p> <p>2、「原則公開・例外非公開」条例や緊急時公表条項の事例を踏まえ、改正の必要性をどう認識しているか。</p> <p>3、今後、外郭団体・交付金先団体、指定管理者等を含めて、町全体の情報公開度を引き上げるため、「内部統制体制」として統合的に制度化する考えはあるか。</p> <p>線状降水帯による災害は短時間で甚大な被害をもたらし、初動の情報伝達が住民の命を守るうえで極めて重要である。現状の町の体制を確認し、改善の方向性を問う。</p> <p>1、現状、本町における線状降水帯等の急激な豪雨通過時の情報伝達経路と所要時間について</p> <p>2、防災行政無線・メール・SNS 等、複数の発信手段における同時配信体制の現状について</p> <p>3、防災無線システムを活用した、他自治体における情報一元化・即時配信の事例を踏まえた改善の可能性について</p>	町長 町長
5	1 番議員 福山 美佳 「一括方式」 (約90分)	乗り合いタクシーの多世代にむけた利用促進と環境整備について 給食センター及び学校体育館への空調設備等の設置について 窓口申請のデジタル化推進について	<p>1、周知方法や利用支援等、多世代が利用しやすい仕組みづくりをさらに進めるための今後の方針について尋ねる。</p> <p>2、小中学校に乗り合いタクシーの乗降場を設置する考えはないのか、町の考えを尋ねる。</p> <p>1、給食センターにおける調理員の労働環境改善や食の安全性の確保を鑑み、空調設備等の導入を検討しているのか現状を問う。</p> <p>2、学校体育館に空調を設置することで、児童生徒の教育環境が改善されると同時に、災害時の避難所環境整備を図れると思われるが、今後の計画についてを問う。</p> <p>1、各課の窓口申請のデジタル化に関する進捗状況について尋ねる。</p> <p>2、住民サービスの向上に繋げるために窓口受付時間短縮を導入している自治体があるが、これについて町の考えを問う。</p>	町長 教育長 町長 教育長 町長
6	2 番議員 伊藤 博長 「一括方式」 (約45分)	お米の政策について	<p>1、昨年9月議会で、町が中心となり南関米のブランド化の推進を明言された。</p> <p>南関米のブランド化についての取り組み内容や進捗状況、実現する時期等について問う。</p> <p>2、お米に関し、ふるさと応援寄付金の返礼品業務を南関ふるさと応援団とは別の町外専門業者に委託する動きがあるが、具体的な内容が見えない。</p> <p>南関ふるさと応援団との共存をどのように考えるか、また、具体的な委託契約内容や返礼品の種類等について問う。</p>	町長